



第16回

山形県

未来の科学の夢絵画展

入賞作品集



開催
期日

令和元年

12月10日(火)午後1時~12月15日(日)午後5時

開催
場所

山形県産業科学館 2階 フリースペース

主催:一般社団法人 山形県発明協会

趣 旨

次代を担う子どもたちが、未来の科学の夢を自由な発想で絵に表現することで、科学的な探求心と想像力を伸ばすことを目的として開催しているこの絵画展は、平成から令和の時代へと引き継がれ、今年度で16回目を迎えました。

夢や希望をもてない子どもたちが増えていると言われている昨今、集まった作品からは微塵も感じられません。

今年も空や宇宙、海の中で生活している様子などを科学の進歩と夢に結びつけた作品、身の回りをもっと便利にする機械やエネルギー・環境問題の解決をテーマにした作品など、アイデアに満ちた作品が多く出品され、子どもならではの創造力の豊かさやたくましさに驚いています。

この作品集は、応募作品248点の中から、入賞した作品(最優秀賞7点、優秀賞22点、優良賞26点)を掲載しています。

創造的でアイデアに富んだ作品の数々をぜひご覧ください。

令和元年11月 一般社団法人山形県発明協会

第16回 山形県未来の科学の夢絵画展 応募状況・表彰数

	学 年	応募件数	内 訳		表 彰 数		
			男	女	最優秀	優 秀	優 良
小 学 校	1	26	16	10	1	3	4
	2	26	12	14	1	3	3
	3	38	25	13	1	3	4
	4	69	42	27	1	4	6
	5	39	17	22	1	3	4
	6	31	11	20	1	3	3
中 学 校	1	14	5	9	1	3	2
	2	5	1	4			
	3	0	0	0			
合 計		248	129	119	7	22	26

応募団体 総 数	52団体 (小43・中4・ クラブ5)
-------------	---------------------------

団体賞	4 団体
-----	------

第 16 回山形県未来の科学の夢絵画展実施概要

1 趣旨

我が国の次代を担う子どもたちが、未来の科学の夢を自由な発想で絵に表現することにより、科学的な探求心と想像力の伸長を図ることを目的として開催する。

2 主催者

一般社団法人山形県発明協会

3 開催期間・会場

- (1) 期 間 令和元年 12 月 10 日 (火) ～令和元年 12 月 15 日 (日)
10:00～17:00 (初日は、13:00～17:00)
- (2) 会 場 山形県産業科学館 2 階フリースペース
山形市城南町一丁目 1-1 霞城セントラル内

4 作品募集期間

令和元年 7 月 1 日 (月) ～令和元年 10 月 31 日 (木)

5 作品募集

- (1) 応募資格 山形県内の小学生・中学生 (少年少女発明クラブ会員を含む)
- (2) 画材・作品の大きさ
- ① 絵の具・クレヨン・クレパス・サインペンなど自由
 - ② B3 判 (36.4 cm×51.5 cm) または四つ切 (38 cm×54 cm) の画用紙大
厚さ 3 mm を超えるものや用紙サイズの異なるものは選外
- (3) 応募作品について
- ① 未来の科学の夢や科学技術の発達により、楽しく生活している未来の世界を描いた作品。
 - ② 1 人 1 点とする。(共同制作は対象になりません。)
 - ③ 本人独自の作品で、未発表のものに限る。
 - ④ 応募作品の返却はしない。

6 審査及び表彰

(1) 作品審査

① 科学部会

期日：令和元年 11 月 14 日 (木) 13:30～16:30

場所：山形県工業技術センター 3 階 講堂

② 絵画部会

期日：令和元年 11 月 15 日 (金) 13:30～16:30

場所：山形県工業技術センター 3 階 講堂

※ 審 査 学識経験者、主催者等で構成する審査委員会

(2) 表 彰 入賞者には所属長を通じて、賞状及び賞品を送付する。

最優秀賞 7 点

優秀賞 22 点

優良賞 26 点

団体賞 4 団体

7 その他

優秀な作品を「第 42 回未来の科学の夢絵画展」(全国展) に出品する。

第16回山形県未来の科学の夢絵画展入賞作品一覧

団体賞

鶴岡少年少女発明クラブ
山形大学附属小学校
尾花沢市立尾花沢小学校
飯豊町立第二小学校

最優秀賞

◆小学校1年生



「にじのかっそうろ &そらのまち」

山形大学附属小学校1年
石井 貴 悠

科学が発展し、空の上にも住めるようになる
といいです。空の上に空港も作って、にじが滑
走路になったらいいなと思って、この絵をかき
ました。

◆小学校2年生



「きけんをしらせる えいぞうドローン」

山形大学附属小学校2年
五十嵐 皓 生

東日本大しんさいのとき、小さなつなみだ
と思ってにげられない人がいました。だから、
ドローンを上げて、すぐみんなにしらせられ
るようにしたいです。

◆小学校3年生



「海をきれいにする 人工クジラ」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立朝陽第三小学校3年)

初 浦 琉 羽

せかい中の海で今問題になっているマイクロプラスチック問題のかい決にむけて、人工クジラが分べつ回収して、きれいになった水をふん水で海にもどす。

◆小学校4年生



「チョー進化スプレー」

飯豊町立第二小学校4年
佐 藤 史 陵

このスプレーをかけられると、ロボットなどの力を持つことができる。カメが船になったり、紙ひこうきがジェット機になったり、すごい機能がつく。

◆小学校5年生



「科学と自然のゆう合した テクノロジー」

山形大学附属小学校5年
齋 藤 奨

今、温暖化が進んでいて、水位が上しょうしているから、水の中でも、木や動物や水の中の生き物がいっしょに生きていけるように海の中を想像しました。

◆小学校6年生



「植物発電」

山形大学附属小学校6年
寒河江 啓 汰

植物は光合成をして養分を作ります。その性質を活用してこの大きな木は日光をあびてエネルギーをつくり、根で町全体へエネルギーを送りとどけます。

◆中学校1年生



「植物型発電機」

酒田市立第四中学校1年
高橋 祐 菜

この装置は太陽光をエネルギーに変換し、利用する機械です。葉の中心部分の先から光を吸収して電気にし、たまったエネルギーを建物に送る機能があります。



優 秀 賞

◆小学校1年生



「きょうりゅうといっしょに」

天童市立天童南部小学校1年

大 沼 琉 生

ぼくは、きょうりゅうがだいすきです。きょうりゅうといっしょにくらせたらいいなとおもって、このえをかきました。



「にじいろのじゅうたん」

飯豊町立第一小学校1年

高 橋 楓 果

いちばん上のお空までいって、きれいなお星さまをみることができるといいなと思います。キラキラきれいなお星さまを近くで見たいと思って描きました。



「ムシがわかる、みつかる、 こんちゅうずかんめがね」

鶴岡少年少女発明クラブ

(鶴岡市立朝陽第一小学校1年)

高 田 佳 志

めがねをかけるとめのまへのムシのなまえがわかる。また、ちかくのきなどにかくれているムシがかんたんにみつかる。そんなべんりなめがねです。

◆小学校2年生



「みらいの町」

尾花沢市立尾花沢小学校2年

高 橋 悠 雅

未来の町をそうぞうした。高いビルがあったり、色々な模様の家があったりする。車は空をとんでいる。



「はたらきロボ」

新庄市立北辰小学校2年

小 林 玄

このロボットは、だいくさんのお手つだいをしてレンガをこわしたり家をつくったりします。おもいものをはこぶしごととするので、とてもやくに立ちます。



「自然と仲良く暮らすエコな未来」
飯豊町立第一小学校2年
渡 部 瑠 斗

人間は地下に家建てて住み、地上からの太陽光エネルギーで生活します。車はゴミを燃料に走り、空気を汚さないで、人間と昆虫が仲良く暮らす未来です。

◆小学校3年生



「未らいの海の中のくらし」

南陽市立沖郷小学校3年

鈴 木 颯 介

未らいは大きな魚がたのせん水かんに人間がげんきにすんでいます。魚たちとなかよくくらしています。



「台風撃退装置」

山形少年少女発明クラブ

(山形市立みはらしの丘小学校3年)

尾 崎 悠 榮

太陽光発電を載せた大型ドローンの装置を飛ばして、右回りの温かいサイクロンを作り、それを左回りの台風につけて、消滅させる。



「草刈りカマキリロボ」

鶴岡少年少女発明クラブ

(鶴岡市立朝陽第三小学校3年)

渡 邊 玖 音

カマの手を持つカマキリロボットが、家の庭の草をあっという間に刈ってくれます。たいへんな草刈りはカマキリロボットたちにおまかせ！

◆小学校4年生



「海の中の家」

天童市立天童南部小学校4年

阿部 日葵

わたしは、海の中でもくらせる未来になってほしいと思いました。木のみきの中をって海の中の家に入ったり、りんごを育てたりできるようにしました



「ハッピーシャワーせいぞうマシン」

天童市立天童南部小学校4年

佐藤 愛莉

いやな気持ちをすいとしてそのいやな気持ちをハッピーな気持ちにかえて出すマシンです。いやな気持ちな人をハッピーな気持ちにかえられます。



「健康レストラン」

尾花沢市立尾花沢小学校4年

大山 珠楽

かがみの前に立ち、所定の場所に手を当てるだけで、今日の健康じょうたいが分かり、その人に必要な栄養の入った料理が自動的に出てくる。

◆小学校5年生



「無重力バッグ」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立朝陽第一小学校4年)

國井 心和

バッグの中が無重力空間になっているので、通学や買い物の時に、荷物の重さを感じることなく持ち運びができます。こしやかたもいくなりません。



「偉人たちに会える本」

山形大学附属小学校5年
五十嵐 優貴

図書館にいて昔の偉人の本をひらくだけで、昔の出来事をリアルに聞けたらいいなと思いました。そうしたら、未来にちゃんとしたれきしが分かります。



「キラキラ太陽はじける！ ハッピーパラソル」

飯豊町立第二小学校5年

鈴木 彩世

このパラソルは、人の集まった所へ羽で自動で飛んでゆき、太陽光をハッピーミストに変えてみんなにふりまきます。熱中症対策にもなりみんなに喜べれます。

◆小学校6年生



「疲労発電機」

三川少年少女発明クラブ
(三川町立横山小学校5年)

石川 叶翔

ばくのお母さんは仕事でとても疲れているから、シップを貼って痛みを吸い取ると発電します。その電力を使って生活したり緑を増やしたりできます。



「自然守備隊」

鶴岡市立東栄小学校6年

本間 大心

ちょうちょうが空気をきれいにしたり、温度ちょうせつができたりするという作品です。



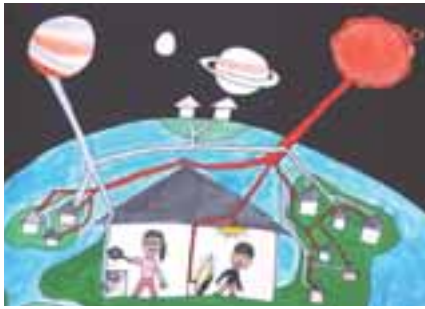
「停電発見! 送電雲ロボット」

山形少年少女発明クラブ
(山形市立金井小学校6年)

横澤 俐旺

このロボットは、停電になっている家をさがして、発電所から電波のように電氣を受け取り、送電することができます。主に災害の現場で役に立ちます。

◆中学校1年生

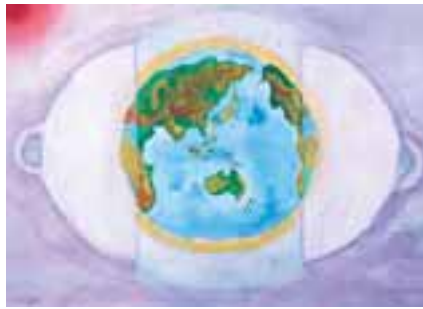


「宇宙資源利用ホース」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立朝陽第二小学校6年)

五十嵐 大 翔

エネルギー問題が深刻な今、宇宙の星々と地球の家々をホースでつなぎ、ガス・光・熱などの宇宙資源をエネルギーに変えて過ごせればと思えました。



「温暖化防止地球フィルター」

山形市立第二中学校1年

伊 勢 和香菜

最近、地球温暖化により台風や水害が数多く世界で発生しているので、太陽熱から守るために地球を包むフィルターがあればよいと思い、この作品を描いた。



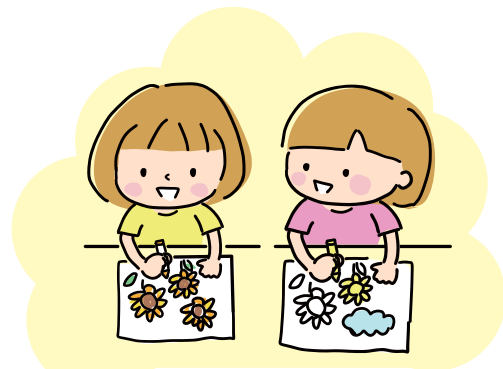
「ヘルメットが写した先」
「未来の宇宙旅行」
山形市立第二中学校1年
楠 あかり

この絵には、私が考えた未来の宇宙旅行を、宇宙飛行士のヘルメットによって表現されています。この絵には描かれていない部分も、想像してみてください。



「未来の進歩した科学」
米沢市立第三中学校1年
小 野 颯 太

上半分で未来のどんな科学が進歩しているか描き、下にはその科学を利用している風景を描きました。大きなドームで、二酸化炭素を酸素にします。



優 良 賞

◆小学校1年生



「うちゅうふくなしでうちゅうたんけん」

山形市立みはらしの丘小学校1年

多 田 和 史



「楽しい夢が見られるベッド」

尾花沢市立尾花沢小学校1年

菅 野 廉太郎



「うちゅうもあるけるなかよしマシン」

長井市立西根小学校1年

勝 美 歩 音

◆小学校2年生



「ねがいをかなえるおようふく」

飯豊町立第一小学校 1年
沼澤 陽美歌



「酸素をうみだすカー」

山形市立滝山小学校 2年
奈良 唯花



「にじのマンション」

山形大学附属小学校 2年
西原 世奈

◆小学校3年生



「天の川をわたるふね」

飯豊町立第二小学校 2年
新沼 絢斗



「うちゅうへのりようができる!」

山形大学附属小学校 3年
佐藤 珠々



「ロボットのいる生活」

川西町立犬川小学校 3年
大木 陽斗

◆小学校4年生



「若がりルーレットマシン」

山形少年少女発明クラブ
(山形市立出羽小学校 3年)
早坂 蓮花



「雪かきしながら雪がっせん」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立大泉小学校 3年)
白幡 拓己



「海の中を走る新かん線」

尾花沢市立尾花沢小学校 4年
土屋 謙翔



「電力発電所」
南陽市立沖郷小学校 4年
高橋 大央朗



「本の世界へレッツゴー!!」

白鷹町立荒砥小学校 4年
豊嶋 楽生



「地球を守れ!!!いん石かいしゅう機」

山形少年少女発明クラブ
(山形大学附属小学校 4年)
富樫 晃仁

◆小学校5年生



「マジックフライパン」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立朝陽第一小学校4年)
関本舜介



「鳥型収穫ロボ&フルーツ加工マシン」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立朝陽第三小学校4年)
渡邊 紬



「空飛ぶ僕の未来の自転車」

山形市立東小学校5年
西尾奏人



「絵本まくら」

飯豊町立第二小学校5年
須藤心優



「冬にがんばる!!雪消防車」

鶴岡少年少女発明クラブ
(鶴岡市立朝陽第三小学校5年)
芝田 翔



「欲求プロジェクター帽子」

三川少年少女発明クラブ
(三川町立東郷小学校5年)
矢作陽日

◆小学校6年生



「自給自足できる家」

山形市立みはらしの丘小学校6年
三宅心乃



「行きたい空間に行けるシャボン玉」

天童市立天童南部小学校6年
鈴木姫菜乃



「みんなが楽しく住める未来」

尾花沢市立尾花沢小学校6年
土屋永愛

◆中学校1年生



「未来の便利ロボット」

米沢市立第三中学校1年
鈴木友捺



「スグカワーク」

山形市立第四中学校2年
石川香恋

一般社団法人山形県発明協会のご案内

～ 科学技術の振興と産業の発展への貢献をめざして ～

事業案内

知的財産権制度の普及・啓発

- ◆知財総合支援窓口の開設（山形週1回、鶴岡・酒田・米沢・新庄・長井 各月1回）
- ◆知的財産権に関する講習会等の開催
- ◆知的財産権関連情報の調査と提供
- ◆パソコン出願操作指導と一般出願相談
- ◆知的財産権関連書籍の閲覧と販売



発明の奨励・振興

- ◆全国発明表彰への参加
- ◆東北地方発明表彰への参加
- ◆県発明協会発明奨励功労表彰の実施
- ◆叙勲・褒章への推薦
- ◆その他各種発明奨励関連表彰への推薦

青少年の創造性開発育成

- ◆県発明くふう展の開催
- ◆全日本学生児童発明くふう展への参加
- ◆県未来の科学の夢絵画展の開催と全国展への参加
- ◆県内各少年少女発明クラブの育成と活動支援
- ◆県内青少年の創造性開発育成事業の実施

業務概要

一般社団法人山形県発明協会は、発明の奨励、知的財産権制度の普及啓発、青少年の創造性開発・育成等を行うことにより、科学技術の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的として活動しています。

組織（令和元年5月24日現在）

会長	木村 一 義	(株)シェルター 代表取締役
副会長	鈴木 隆 一	(株)でん六 代表取締役社長
	山本 丈 実	(株)山本製作所 代表取締役
	鈴木 重 幸	(株)鈴木製作所 代表取締役社長
	佐藤 龍 則	山形県工業技術センター所長
常務理事	嶋 貫 栄 次	山形県発明協会 事務局長
事務局	事務局長：嶋貫栄次 青少年創造性開発育成員：武田正司	
	参与：土田芳昭 書記：五十嵐三奈	
	知財支援アドバイザー：高橋正知、川崎 裕、三宅茂樹	
	知財事業運営担当 兼 知財支援アドバイザー：渋谷尚子	
	知財事業普及啓発担当：武山勝士	

[名 称] 一般社団法人山形県発明協会
[所在地] 〒990-2473
 山形市松栄二丁目2番1号
 山形県高度技術研究開発センター内
[連絡先] TEL 023-644-3316
 FAX 023-644-3303
[創 立] 大正 14 年 7 月
[ホームページ]
<http://yamagata-i.sakura.ne.jp/>

－ 入会のおすすめ －

当協会事業に賛同される方の入会を求めています。趣旨をご理解いただき是非ご入会ください。詳細は協会ホームページをご覧ください。

会員種別	年 会 費				会 員 特 典
	特 別	第一種	第二種	第三種	
正 会 員 (法 人)	30 万円	10 万円	5 万円	3 万円	☆情報誌等の無料配布 ☆講習会・相談会・展覧会等の案内 ☆特許出願等に関する相談 ☆協会発行書籍の割引 ☆発明関連表彰への推薦 他
正 会 員 (個 人)	第一種	第二種			
		3 万円	1 万円		
賛助会員	10 万円				

案 内 図:

